

## 学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	1		
科 目 名	生化学				
担 当 者	米田孝司				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.3	4.5	4.5	4.3	4.4	
学生へのメッセージ					
<p>「色別にマーカーを引いてから次のページに行くのが少し早いときがあった」と意見があり、確かにその傾向があったと思います。1年生かつ初めて聞く項目名が多いので、もう少しゆっくりと説明すれば良かったと思います。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	4		
科 目 名	X線撮影技術学Ⅲ (CT)				
担 当 者	木村 英理				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.9	4.4	4.4	4.3	4.6	
学生へのメッセージ					
<p>X線 CT 検査は、空間分解能が高く、検査時間が速く、3D 画像などの画像処理を行うことでより詳細な体内情報を提供することが可能です。そのため、病変の有無のみならず、鑑別診断や術前シミュレーション、経過観察など、現在の医療では欠かせない重要な検査となっています。その一方で、被ばく線量の増加や膨大なデータ量、アーチファクトの問題が出てきています。</p> <p>私は、大学の時に受けた CT の授業と臨床実習がとても面白くて、診療放射線技師になったら絶対 CT を担当したいと強く思いました。運よく 1 年目から CT を担当することができ、そして今はみなさんに CT を教えることができ本当にうれしく思います。</p> <p>診療放射線技師は、見えない病気を写し出す「病気の第一発見者」です。医師よりも先に画像を目にします。そのために、私たち診療放射線技師には、X線 CT 装置の管理や画質の調整、造影剤量やタイミング、検査手法、3D 画像処理などの知識・技術のみならず、読影する力も必要となってきます。</p> <p>この科目では、できるだけみなさんに興味を持ってもらえるように、また、理解してもらえるように授業の補助教材としてスライド資料、まとめプリント、動画資料、そして過去問を公開しました。わかりやすかったというコメントや総合評価についても学科平均よりも高い評価をいただき一方で、補助教材の公開のしすぎは、欠席や居眠り、授業を集中して聞かない、後から配信される動画を見ればなんとかなるなどの受講態度の悪化や、みなさん自身が疑問や探究心を持ち、自らの努力を持って理解すべき貴重な学修の機会を奪ってしまったのではないかと考えています。</p> <p>今後は、学生のみなさんの評価やコメントを取り入れつつ、みなさんが興味を持ち、そして主体性を持って学修できる授業を展開できるよう頑張りたいと思います。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	2		
科 目 名	医療英語				
担 当 者	山崎麻由美				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.4	4.3	4.3	4.3	4.4	
学生へのメッセージ					
<p>授業には伊藤先生も参加して下さって、2人で進めるという形になりました。伊藤先生が専門の解説を行い、英語の文法や表現は山崎が担当するという形で進めました。各検査の英語の動画も伊藤先生が解説付きで流して下さったので、その後の英文解釈の助けになったのではないかと思います。また今年は先輩方が実際に英語で患者対応をしている動画も見てもらいました。この動画は好評で「先輩方が英語を話している姿を見て意欲がわいてきた」「私にもできる気がしてきた」というコメントが寄せられました。授業内の教材というだけでなく、職場で英語対応をする場面になったときに思い出してもらえれば嬉しいです。</p> <p>グループワーク発表会の授業ではグループで会話を作成し、その成果をネイティブの先生に披露してもらいました。時間の関係で全グループに発表してもらうことはできませんでしたが、きちんと会話を作ることができていました。その中で2グループの人たちが録画を了承してくれたので、次の時間にそれを用いて解説をすることができました。動画で振り返ることができたので、良かった点や改善点を具体的に理解してもらえたのではないのでしょうか。</p> <p>「医療英語」で学んだことはこれから先に必要な英語のほんの一部にしか過ぎません。今後は自分にあった英語の付き合い方を見つけてもらえればと思います。医療に携わると英語は必ず必要になってきます。将来にわたって自律した英語学習者になってくれることを願っています。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	1		
科 目 名	医療コミュニケーション				
担 当 者	谷口英明				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.5	4.6	4.6	4.5	4.7	
学生へのメッセージ					
<p>前期はコミュニケーション論を履修してくれました。後期は医療現場に特化した本科目を選択履修してくれたことに感謝します。</p> <p>皆さんから多くの感謝の言葉をいただき嬉しく思います。「頭の体操」や「豆知識プレゼン」などを毎回行ったのは気分転換もありますが、決して意味のないことではありません。授業でも何度も言いましたが、傾聴力や発言力を鍛えてほしいからです。そして、毎回席を変えてグループディスカッションを行ったことが良かったという声を多くいただきました</p> <p>学んだことを将来、実習の際に役立てていただけたら幸いです。最後に「本当のプロフェッショナルとは、平常心ではなく”良い緊張感”をもって仕事に臨む」私はそう思います。頭の片隅に置いておいてください。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	2		
科 目 名	画像診断機器学実習 I				
担 当 者	木村 英理				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.1	4.2	4.2	4.2	4.3	
学生へのメッセージ					
<p>この実習では、「画像診断機器学 I」「画像診断機器学 II」をはじめ、講義（座学）で学んだことを実際に実習で体験することで、知識や技術を定着させることを目的としています。ブルーの実習着を着た学生さんたちが、実際の診断医療機器を触り動かし、楽しそうに、そして興味深そうにみんなでワイワイと実習に参加してくれていたのはとてもうれしく思いました。</p> <p>ガイダンス等で説明をしましたが、画像診断機器学は国家試験の科目であり、200 問中 20 問を占める重要な科目ですが、科目の特性上理解が難しく、学生さんが非常に苦戦する科目です。また、大型の医療機器と放射線を用いて検査や治療に携わる診療放射線技師にとってもとても重要な科目です。病院では、検査で使用する機器や画質の管理は、私たち診療放射線技師がその役割を担っています。機器の管理をおろそかにしていると、画質の低下によって指摘できる病変が指摘できなくなったり、被ばく線量が増加したり、時には大きな事故にも繋がってしまい、患者さん自身のみならずその予後にも大きく関係することとなります。この時、患者さんのすぐ傍で機器を操作し検査や治療に携わっている私たち診療放射線技師が知らない・分からないでは通用しません。</p> <p>そのためこの実習では、臨床や国試で重要とされている項目を中心に実習内容を決定しています。決して難易度の高すぎる実習内容ではありません。2 年生が終了し、「座学」が終わり、「実習」が終わりました。次は医療現場でこれらの大型機器をどのように駆使し検査や治療が行われているのか、臨床現場で学ぶこととなります。その準備はできていますか？</p> <p>学生さんからのコメントに定期試験の割合をもっと低くしてほしいというコメントがありました。定期試験を実施しているのは、実習で学び得たことがきちんと正しく定着しているかを確認するものです。グループで楽しくワイワイとやった風では何も役には立ちません。もし、「座学」「実習」が終わってもまだ知識や技術が定着できていない学生さんは、今一度この科目の重要性を認識していただき、ぜひこの機会に座学からの復習を強く求めます。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	3		
科 目 名	救急医学概論				
担 当 者	木村 英理				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.1	4.7	4.7	4.5	4.7	
学生へのメッセージ					
<p>この科目では、救急医療の概論をはじめ、日常生活で生命の危機に瀕した人に対する処置、そして診療放射線技師として救急医療に携わるために必要な知識や技術について、講義形式で行いました。開講時期が臨床実習直前でもあり、救急医療の現場の緊迫感や実際の手技などをリアルに感じてもらうために、動画やケース、臨床画像などを多く取り入れました。</p> <p>特に、業務拡大の一環として、診療放射線技師による読影の補助、救急医療における STAT 画像の報告などの取り組みも行われていることから、生命の危機に関わる重要な所見については特に時間をかけて解説を行いました。その効果もあってか、11月から始まった臨床実習では、複数の学生さんからこの科目で学んだことが実際に役に立ったと耳にし、科目担当者としても嬉しく思います。</p> <p>一方で、X線画像における所見を説明する際の画像について、授業では1ページあたり4コマのプリントもしくはPDFファイルを配布しておりましたが、プリントの画質が非常に悪いとの指摘を多数いただきました。8号館に導入されている印刷機にて高精細モードで印刷をしていますが、現在導入されている印刷機では今以上の画質で出力することができない状況です。学修効果を高めるためにも配布資料の画質改善、i-Pad等による閲覧を進めるなど改善していければと思っております。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	1		
科 目 名	対人援助論				
担 当 者	江崎ひろみ				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.8	4.6	4.6	4.6	4.7	
学生へのメッセージ					
<p>毎授業ごとのミニツツペーパーへのコメントや本授業評価のおかげで、授業の改善点がわかりました。ありがとうございました。</p> <p>本科目は 1 年後期後半で、放射線技師がどのように対象（患者やその家族）へ安心をもたらす安全・安楽な対応をされているのか、これから本格的に学ばれることと思います。対象（患者）に触れ、対象（患者）の安全を守るには、まずは観る視点が必要となります。本授業で得た基本的な知識を「観る視点」のひとつとしてもらい、自分で観る・気づく・考察する・工夫する・考えを伝える（記述する）ことに活かしてもらいたいと思います。（江崎）</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	2		
科 目 名	診療放射線学科				
担 当 者	倉本 卓				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.9	4.3	4.4	4.3	4.4	
学生へのメッセージ					
<p>高度な内容を学ぶ専門科目や実習が開催される中、皆様よく学習されていたと思います。お疲れさまでした。</p> <p>学生による授業評価調査における、「この授業でよいと思った点」に関して、本当に多くのコメントいただきましたこと、大変うれしく思います。また、総合評価においても、非常に高い評価を頂けたこと、大変光栄に思います。ありがとうございました。私の講義を通じて、本講義内容の重要性と共に、診療放射線技師の魅力や、やりがいなどを、臨床現場にいた経験者として皆さんに少しでも伝えられていたらうれしく思います。</p> <p>一方、「この授業で改善すべきだと思った点」に関して、“プリントがよくわからなかった”とのコメントをいただきました。確かに、講義プリントは、プリント単体で閲覧したとしても理解することは難しく、あくまでも、講義の補助資料としての位置づけとなっています。講義を聞いていただき、分からないところがあれば、テキストを中心に復習いただくか、質問に来ていただくなどして、理解を深めるようにしてください。また、講義中に与えられることだけでなく、自分で必要なものは自分で調べる習慣も、これからの学習に必要とも思いますので、意識して取り組んでください。</p> <p>2年生になり、専門科目が多く急に難しい講義が増えたように感じられているかもしれませんが、皆様は3年後には医療現場の最前線に立つこととなります。ここで学んだことは、臨床業務に直結することばかりです。少し先の未来を見据え、目標をもって日々を過ごしてください。また、分からない問題や、悩みに対して、自ら考え取り組む習慣について、少し意識した行動を心掛けてください。これからも皆さんの成長のお手伝いができればと思っています。</p>					



## 学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	2		
科 目 名	医用画像工学				
担 当 者	今井方丈				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.5	3.8	4	3.7	3.9	
学生へのメッセージ					
<p>授業評価調査の回答をありがとうございました。</p> <p>①医用画像工学は、苦手とする学生さんが多い科目です。今年度は基礎にあたるので復習に費やした時間が多く、全体的に遅れが生じてしまいました。その分理解を進めることができたかとは思いますが、次年度の後半にしわ寄せが行かないよう注意して進めたいと思います。②小テストについては、今回初めて自由席密集型での実施だったため、ご意見通り不具合が生じたこと、真摯に受け止め反省し、次年度に活かそうと思います。</p> <p>③後半は、応用にあたるデジタル画像の画像評価と画像処理および主観的評価について学習していきます。この授業内容が基礎となりますので、復習しておくとうよろしいかと思ひます。実習と平行して進めて行きますので、メリハリをつけて対応出来るかと思ひます。後半も頑張って学習していきましょう。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	1		
科 目 名	放射化学 I				
担 当 者	長谷川大輔				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.9	4.3	4.4	4.3	4.5	
学生へのメッセージ					
<p>たくさんのご意見ありがとうございました。</p> <p>「分かりやすかった」とご意見をいただけて非常に嬉しく思います。スライドの誤り箇所や、問題解説で不十分と思われた点については、次回に向けて改善させていただきます。放射化学 II も担当しますので、次年度も頑張りましょう。よろしく願いいたします。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	3		
科 目 名	核医学検査機器学				
担 当 者	長谷川大輔				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.7	4.6	4.5	4.4	4.6	
学生へのメッセージ					
<p>みなさんたくさんのご意見ありがとうございました。</p> <p>みなさんのご意見を参考に次年度以降改善していきたいと思っています。</p> <p>シミュレータについては初めての取り組みだったので、「よく分からない」というご意見も多かったように思いますが、臨床実習後にシミュレータでの講義が効果的だったか、改めて伺えたらと思います。よろしく願いいたします。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	3		
科 目 名	核医学機能解析学				
担 当 者	長谷川大輔				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.8	4.5	4.4	4.4	4.5	
学生へのメッセージ					
<p>たくさんのご意見ありがとうございます。問題形式の講義内容が良かったと、多くの意見をいただきました。臨床実習前にみなさんに知識の定着を図れるような授業にさらに改善していきたいと思えます。ありがとうございました。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	1		
科 目 名	臨床技術入門				
担 当 者	今井方丈				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.7	4.3	4.3	4.4	4.4	
学生へのメッセージ					
<p>授業評価調査に回答頂きありがとうございました。</p> <p>医療系の大学へ入学してきても、医療について詳しい事は分からないと思います。</p> <p>そこで入門編として、医療とは？病気とは？病人とは？病院とは？医療職とは？等々、様々なことを、それぞれのエキスパートの方から学ぶ機会を設けました。</p> <p>また、新型コロナウイルス対策で中止していた臨床現場の見学実習も、昨年度より実施できています。百聞は一見にしかず、ですね。</p> <p>少しは医療の一端を見ることができたかと思っております。2年生からは診療放射線学について、詳細に学んでいきます。診療放射線技術について幅広く、そして深く学んでいきますので、しっかり事前・事後学習をして臨んで下さいね。頑張りましょう。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	2		
科 目 名	診療画像検査学Ⅱ（超音波・眼底）				
担 当 者	浦 みどり				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.7	4.3	4.3	4.3	4.5	
学生へのメッセージ					
<p>授業評価にご協力いただき、ありがとうございました。また、授業への出席やご意見など、ありがとうございました。全体的に高評価を頂き、皆さんが一生懸命授業に取り組んだ成果が、このような形で現れたのだと思います。</p> <p>毎週金曜日の3限、少し気だるい時間帯だったと思いますが、皆さんのお陰で私自身もとても楽しく授業をさせて頂きました。ありがとうございました。限られた時間の中で、どの程度お伝えすることが出来たかは疑問が残る部分もあり、もう少し難易度を上げることも考えましたが、まずは超音波検査に少しでも興味を持っていただけて良かったと思います。悩ましい授業の難易度ですが、国家試験問題を網羅していますので、恐らく今の皆さんの知識で、今年度のエコー・眼底の問題は、かなり解けると思います。機会があれば、春休み中にでも取り組んでみてください。きっと実力がついたと実感できると思いますよ！</p> <p>また、小テストの際に皆さんから沢山の嬉しいコメントや次に生かしたいご助言を頂けたので、少しずつですが改善できたように思います。特にクイズは、毎回意欲的に取り組んで頂き、私も作り甲斐がありました。</p> <p>今回頂いたコメントに「第13回（課題）の解答が欲しい」とのご意見がありました。「自分で調べ、考える姿勢」という項目が、授業では少し足りないように感じたので、教科書や配付資料からの抜粋にし、復習として調べるなどして頂きたかったのですが、せっかく頑張って取り組んだ後に、私から皆さんへのフィードバックや解説の時間が十分に取れず、中途半端に終わってしまったこととお詫びいたします。もし、4年生の国試対策等で皆さんにお会いできるようでしたら、13回も含め、改めて一緒に勉強していきたいと思います。</p> <p>また、(何度も申し訳ありませんが)資料の画質に関するコメントについては、出典を明記することや、お手持ちの教科書を使うなどにより、皆さんが確実にアクセスできる方法を今後も考えていきたいと思っています。良い案がありましたら、ぜひまた教えてください！沢山のコメント、ありがとうございました。(科目責任者：浦 みどり)</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	2		
科 目 名	放射線計測学実習				
担 当 者	高久圭二				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.2	4.5	4.5	4.3	4.5	
学生へのメッセージ					
<p>前期の放射線計測学で学んだ知識を、実習で用いることにより、知識の定着を図るコンセプトでした。manaba 上へレポートをアップするようにしましたが、スムーズに行えて良かったです。発表会で学生からの質問がもっと出るようになって欲しいです。</p> <p>①この授業でよいと思った点 なし</p> <p>②この授業で改善すべきだと思った点 なし</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	1		
科 目 名	放射線物理学 I				
担 当 者	高久圭二				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.7	3.9	4	3.9	4	
学生へのメッセージ					
<p>放射線物理学を系統的に学習するというコンセプトでしたが、何人かは生徒から学生への進化を期待しています。今季から教科書を変更しましたが、より学習しやすくなったと思います。放射線は目に見えない物ですので、それをいかにイメージするかが理解のポイントになります。</p> <p>①この授業でよいと思った点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回の復習から始まる点。小テストがある点。プレ資料やプレテストがあった点。スライドの進めるスピードが丁度良かった点。</li> <li>・ 課題のレポートをする事で身に付くのがとても良いと思います。</li> <li>・ 質問にきちんと答えてくれたので良かったです。</li> <li>・ 毎回のレポートや小テストが復習になってよかったです。</li> <li>・ 授業の内容が分かりやすかったです。</li> <li>・ 授業のスピードが適切だったと思う。</li> </ul> <p>②この授業で改善すべきだと思った点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ レポートの模範を例でもいいので示して欲しいです。</li> </ul>					



学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	1		
科 目 名	生理学				
担 当 者	松田 正文				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.6	3.4	3.6	3.5	3.6	
学生へのメッセージ					
<p>生理学は解剖学と並んで、医学及び医学関連事項を理解するうえで重要な、また基本的な領域です。暗記にはしらずきちんと理解するようにしてください。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	4		
科 目 名	診療放射線技術学総合演習Ⅱ				
担 当 者	松田正文				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
4.5	4.2	4.2	4.3	4.2	
学生へのメッセージ					
<p>対策講義について、担当教員によって国試対策に役立つかどうかの差が激しいとの意見がありました。役立つ講義を具体的に挙げていただいた方もあり、他の講義も改善していきたいと思います。(文責: 伊藤)</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	3		
科 目 名	臨床基礎実習				
担 当 者	松田正文				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.3	4.5	4.4	4.5	4.5	
学生へのメッセージ					
<p>患者の呼び入れや一般撮影のポジショニング、CT での対応など、一度校内で体験してから実習に行くことができよかったとの意見がありました。</p> <p>一方で、CBT については正解がわからないまま再試を繰り返すことへの疑問がありました。また、MRI や放射線治療など実機がないモダリティでの OSCE の必要性への疑問がありました。臨床実習で患者呼び入れやポジショニングをさせていただいた方も多いと思います。初めてそれらを行う場が臨床実習で、患者さんが相手だと非常に緊張すると思います。学内で経験しておくことで、少しでも緊張による失敗を防ぐことができたのではないのでしょうか。また、学内で一度失敗しておくことも重要な経験と考えられます。</p> <p>CBT の運用や、本学に実機がないモダリティでの OSCE については、臨床実習に行った際に有益な内容になるよう今後検討を行なっていきます。(文責:伊藤)</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	1		
科 目 名	医用工学Ⅱ（電子工学）				
担 当 者	関 雅幸				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.6	3.9	4.1	3.9	4	
学生へのメッセージ					
<p>学生による授業評価調査は「授業はわかりやすい内容であった。」や「授業は知的関心や好奇心を起こす内容であった。」という事柄に対して課題が残るという結果になりました。レポートをきちんと提出しない人や4回や5回欠席する人が目につきました。持病がある方は仕方ありませんが、生活習慣の乱れによるものなら、それは正すべきです。上の学年にいくほど学習内容は高度になりますので、ここで修正して新しい学年に備えてください。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	2		
科 目 名	核医学検査技術学 I				
担 当 者	對間博之				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.7	4.1	4.11	3.9	4.1	
学生へのメッセージ					
<p>コメントありがとうございます。実機もなくイメージが難しい科目だと思いましたが、良くがばっていただいたと思います。一部、マイクを使わなかったようで聞き取りにくいとの指摘もありましたので気を付けるようにしたいと思います。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	3		
科 目 名	放射線安全管理学				
担 当 者	對間博之				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.4	4.1	4.2	4.1	4.2	
学生へのメッセージ					
<p>コメントありがとうございます。法律的なこともあり難しい科目だと思いましたが、良くがばっていただいたと思います。講師間での資料のフォーマットの違いで分かりにくいとの指摘も 1 件ありましたので、考えてみたいと思います。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	1		
科 目 名	公衆衛生学				
担 当 者	溝越祐志				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.7	4.6	4.6	4.4	4.6	
学生へのメッセージ					
<p>8 回分の講義お疲れ様でした。授業はいかがでしたでしょうか。公衆衛生と聞くと、少し皆さんの専門からは外れているかなと思う学生さんが多いかもしれません。ただ、歴史を振り返ると、昔から感染症と闘ってきた我々人類にとって、この公衆衛生の分野というものは、人類を守るうえでとても大切な分野であることがわかります。コロナウイルスに関する予防に関しても、この公衆衛生学の知識がふんだんに利用されています。8回の授業は国家試験をベースに講義を行いましたので、公衆衛生学の楽しさと大切さというものを存分に伝えることはできなかったと思いますが、とても大切な学問であるということは知っておいてほしいです。</p> <p>授業評価で教科書の「教科書への線引きが少しはやい。」という意見を複数いただきました。来年度は気を付けて、もう少し時間をゆっくり取りたいと思います。定期試験問題とは国家試験に対応できるだけの問題は出したつもりですので、その知識を維持し続けることができるならば、国家試験に臨むだけの力は十分あるので自信を持ってください。とはいえ、3年後まで本講義知識を覚えているという人は少ないと思いますので、4年生になったらまた覚えなおしましょう。今後の皆様の頑張りを期待しております。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	2		
科 目 名	核医学検査技術学Ⅱ				
担 当 者	對間博之				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.8	4.1	4.1	4.1	4.1	
学生へのメッセージ					
<p>コメントありがとうございます。皆さんから授業ごとにいただく質問にはできるだけ答えようと授業冒頭の時間を使いましたが、どの部分の内容か分からないとの指摘がありました。これは正当な指摘だと思いますので対策を考えたいと思います。また、問題提出の時間についてバイトがあるため18時では厳しいとのコメントがありますが、以前は紙で授業中に提出していたものです。さらに18時に厳密に締め切りを区切っていませんので、提出できなかったケースはないと思います。自分で対応できるところは努力してみてください。資料のコピーの要望も聞いていますが、タブレットで参加している学生もおり無駄な印刷も多くなってきていますし、画像所見が見やすいようにあえてデジタル配信しています。</p> <p>グループワークについては、有効活用できていないグループもありますがもっと短時間で効率的な工夫を考えたいと思います。</p>					



## 学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	3		
科 目 名	I P W (多職種連携) 論				
担 当 者	對間博之				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.1	4.4	4.3	4.3	4.5	
学生へのメッセージ					
<p>コメントありがとうございます。本講義が実習に向かう際のモチベーション向上につながったというコメントをいただき大変うれしく思います。学生の目線ではイメージしにくい部分がありますが、就職後に思い出していただければと思います。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	3		
科 目 名	放射線安全管理学実習				
担 当 者	對間博之				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.3	4.3	4.3	4.3	4.4	
学生へのメッセージ					
<p>コメントありがとうございます。本実習については概ね好評をいただき良かったです。実習科目によっては分かりにくい点もあると思いますが、臨床実習だけでなく少しでも就職後に役立つように工夫したいと思います。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	2		
科 目 名	診療画像検査学 I (MR)				
担 当 者	伊藤彰				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.3	3.7	3.8	3.6	3.7	
学生へのメッセージ					
<p>MRI は他のモダリティと撮像原理が全く異なるのでかなりヘビーな科目だったと思います。一度の勉強で理解するのは困難なので、いろんな人の説明を聞いて自分の中で腹落ちする解釈を探してください。臨床実習はそのいい機会になると思います。いただいた意見では、スライドのどこが大事かわからなかったという意見がありました。MRI は扱う事項が膨大なので、スライドは重要箇所を抜き出しています。すなわち、スライドに書いてあることは(ほとんど)全部大事だと考えてください。手書き文字についてもご指摘いただきました。気をつけるようにします</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	1		
科 目 名	情報メディア演習				
担 当 者	大城亜水				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.6	4.5	4.6	4.6	4.5	
学生へのメッセージ					
<p>本科目で取り上げた内容はエッセンスに過ぎません。より深く学ぶためには、本科目で行ったことを継続することが重要です。ぜひ今後の大学生活で活かさせられることを期待しています。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	診療放射線学科	学 年	2		
科 目 名	応用数学				
担 当 者	伊藤彰				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.9	4.2	4.2	4.1	4.2	
学生へのメッセージ					
<p>フーリエ解析について、アプリによって楽しく学ぶことができたとの意見をいただきました。また、アプリとフーリエ解析がどのようにつながっているかをもっと知りたいとの意見もいただきました。</p> <p>基礎数学で使用したアプリは、診療画像検査学 I(MR)で使用したフーリエ変換のシミュレーションとやっていることは同じです。</p> <p>「複雑な入力信号でも周波数が異なる単純な信号の和で表すことができる」ということです。基礎数学のアプリでは、矩形波(四角い波)4つの組み合わせでそれを表現していますが、診療画像検査学 I(MR)のシミュレーションでは、多数の滑らかな三角関数の組み合わせで表しています。</p> <p>再現のための材料の種類と数が違うだけなのです。(文責: 伊藤)</p> <p>- ブロックの情報を送ろう(ver2.2)  <a href="https://ikeike.i.kyushu-u.ac.jp/fourier/fourier-ja.html">https://ikeike.i.kyushu-u.ac.jp/fourier/fourier-ja.html</a>          - An Interactive Introduction to Fourier Transforms  <a href="https://www.jezzamon.com/fourier/">https://www.jezzamon.com/fourier/</a></p>					